



アライグマのモニタリング調査

生態系被害や農業被害などが問題となっている特定外来生物アライグマの対策を、科学的・計画的に進めるために、分布状況や被害状況の把握を行っています。

アライグマとは？

- 北アメリカ原産の哺乳類です。
- 被害が大きいため、**特定外来生物**に指定されています。



- 体重：4～10kg
- 食性：雑食
(ほぼ何でも食べる)
- 繁殖：年1回
春に3～5頭を出産
- 生息：森林～都市部
(幅広い環境に生息)
- 性質：手先が器用
気性が荒い



ブドウの木に登るアライグマ

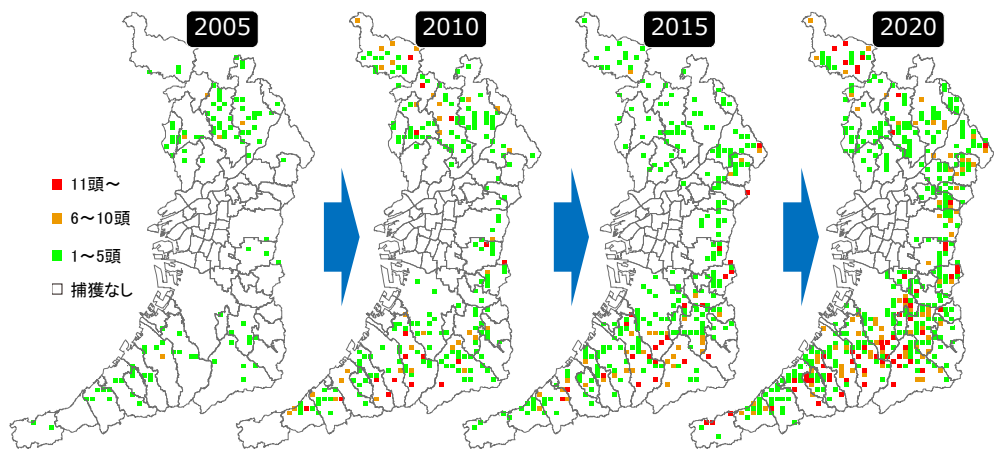


アライグマに食べられたスイカ

※写真提供：大阪府パンフレット

アライグマの分布状況

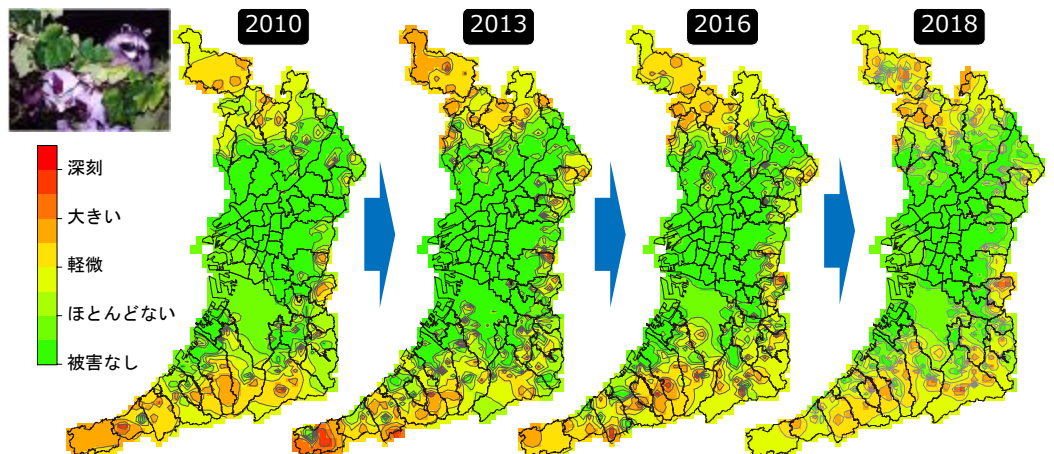
- 大阪府内では、2002年度に茨木市と河内長野市で捕獲されたのが最初の記録です。
- 2010年頃には北河内地域にも分布が拡大したようです。
- 近年はさらに都市部へと、分布が拡大し続けています。



基準地域メッシュ（約1km四方）ごとに集計したアライグマ捕獲頭数の分布と推移

農業被害の分布状況

- 分布拡大にともない、北河内地域でも2010年度以降、被害が増加しました。
- 近年は、都市部でも被害の発生がみられます。
- 近年は北部や南河内で増加傾向にある一方で、中部や泉州地域ではほぼ一定で推移しているようです。



アンケート調査から評価した、アライグマによる農業被害強度の分布と推移